



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2025年6月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

EF・JEF (Endowment Fund, Japan Endowment)

CHARTERED IN

一主 題 NOVEMBER 21, 1955

国際会長

「Together for a better world」

A. Shanavaskhan (インド)

アジア会長

「変革のための光となろう」

ジョン・ウオン (香港)

東日本区理事

「Our Future Direction

山田 公平 (宇都宮)

ワイズの方向性を見極める」

北海道部部長

「Well Beingなワイズライフを！」

柴田 伸俊 (札幌)

健康で楽しいワイズライフを！」

札幌クラブ会長

充実した人生を送るためのワイズ活動」

小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 小野 健
副会長 山崎 修
書 記 本宮 大輔
会 計 秋葉 聡志
直前会長 小野 健

「あなたがたは、『然り、然り』『否、否』と言いなさい。」

マタイによる福音書 第5章37節 山崎 修 選

巻頭言 受援力

宮崎 善昭

2024年の統計では日本の自殺者数は23,000人で対前年度1,517人の減少となっており、1978年に統計を取り出してからは2番目に少なかったと報告されています。しかし、子ども（小中高生）の自殺数は529人と統計開始以降最も多い人数になりました。圧倒的に高校生が多いのですが、特に目立つのは女子の増加です。学校問題、健康問題、家庭問題などが大きな理由です。

「受援力」とは一種の人間の能力のことで、自分が様々な事で困っている時に「誰か助けて」と訴えるスキルや心構えのことです。人間一人で生きていくのは不可能なことは誰も知っていることなのですが、私たちは小さい時から「自分のことは自分でしなさい」「他者に迷惑をかけてはいけない」などと教育されていることもあり、他者に頼ることは恥である、申し訳ない、周りから弱いと思われたくない、などの気持ちが先行し行動を支配してしまいます。その結果、学校や家庭でトラブルがあった時など

自分の近親者や先生、友人に助けを求められずに自分で抱え込んでしまい、生きることに對してネガティブな発想を繰り返し、うつ病になったり、パニック障害を併発して将来に絶望感を描き、最悪の場合命を落とすことになります。

このような状態に自分を追い込む前に、周りにいる他者に助けを求めることを幼少の内から子どもたちに伝えることが必要です。助けを求めることは決して恥でも、相手に申し訳ないことではなく、人間としては当たり前の行動であり生きる術でもあることです。そのためには、子どもにもやみに自立を求めすぎないことや失敗したことを責める、他の子どもと比べるなどを避けることが大切です。そしてはっきりと「助けてほしい」と相手に伝える力を身に着けることです。これを実現するには、学校や家庭や社会でまず大人がそのような価値観を共有することが求められます。「受援力」を身に着けることで少しでも未来のある子どもの自殺を減らしたいと願っています。

札幌ワイズメンズクラブ 2025年6月例会

日 時：2025年6月17日（火）18:30～20:30
会 場：札幌 YMCA 101 教室＋リモート
会 費：1,000 円

司会 山崎 修

- ① 開会点鐘 会長 小野 健
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全 員
- ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 山崎 修
- ④ 開会あいさつ 会長 小野 健
- ⑤ 誕生日 月 日
月 日
- ⑥ 結婚記念日 月 日
月 日

⑦ 卓話

「2024-2025 年度を振り返って (仮)」

札幌ワイズメンズクラブ会長 小野 健さん

- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA 報告 担当主事 北川 佳治
- ⑩ 私も一言
- ⑪ 今月の歌

「北酒場」 細川たかし (1982)

北川 佳治 選

⑫ 閉会点鐘 会長 小野 健



札幌ワイズメンズクラブ 2025 年 5 月例会



前列： 左から 小谷、安田、宮崎、秋葉
後列： 左から 山崎、伏木、本宮、柴田、北川
スクリーン： 小野、武藏、中奥

日 時：2024 年 5 月 20 日（火）18:30～20:30

場 所：札幌 YMCA101 教室＋オンライン

出席者：秋葉、小谷、北川、柴田、伏木、宮崎、
本宮、安田、

リモート：小野

ゲスト：中奥（卓話者）、武藏理事長
(ともにリモート)

出席者計 11 名

「広島 YMCA と被団協について」

広島 YMCA は、1938 年に創立されました。しかし、前年には日中戦争が始まっており、創立の年には国家総動員法が発令され、3 年後の 1941 年に太平洋戦争が勃発したため、YMCA としての活動はほとんどできなかったというのが、創立当時の広島 YMCA でした。そして、4 年後の 1945 年 8 月 6 日に原子爆弾が投下され、焦土の街となったのです。原爆投下の 3 ヶ月後の 11 月に生き残った会員たちは、広島の復興を目指して活動を始めます。元東京 YMCA 勤務の北米協力主事で GHQ のダーキンの手を借りながら、1 年後には現在の八丁堀の土地を入手し、建物を建て、戦後の社会教育における民主教育の中心として成人、青少年、子ども達が集う場所となって

2025 年 4 月例会
出席報告

在籍会員 12 名

出席者 9 名

メネット 0 名

メーキアップ 0 名

ゲスト 2 名

ビジター 0 名

出席者合計 11 名

出席率 67%

いきました。そのの集まってきた多くの方が被爆



卓話者の中奥岳生さん

者でもありました。

YMCAが行う平和活動や社会運動には、原爆で亡くなった子ども達のための慰霊碑である「原爆の子の像」の建立や原爆の被害を後世につたえるための「原爆ドーム」の保存運動がありました。その活動を担ったのが被爆者の方々であり、戦後の広島YMCAを作ってきたのは被爆者の方々でもありました。戦後10年には、ビキニ諸島での第5福竜丸事件などもあり、核兵器廃絶の世界的な機運が高まり、1955年には原水禁世界大会が広島で開催されました。しかし、世界での核兵器廃絶の動きとは裏腹に、被爆者の生活は、困窮



オスロでの行進の様子
(スライド投影を撮影)

と差別に苦しんでいました。1956年に被爆者たちは、自分たちの生活を補償するよう国会嘆願を行います。当時大蔵大臣で広島出身の池田勇人は、「バラバラでしてはいけない、被爆者で国を動かす大きな団体を組織しなさい」という指導の下、1956年6月に広島YMCA講堂において「広島県原爆被害者団体協議会」を設立することになりました。この動きは広島・長崎に留まらず、全国にいる被爆者の組織化を行い、1956年8月に「日本原水爆被害者団体協議会」（日本被団協）が誕生しました。それ以来、広島YMCAは被団協とともに、8月に行われる市民平和行進やYMCAのピースセミナーの被爆者証言などの活動を共に歩んでいます。昨年末、日本被団協がノーベル平和賞を受賞した際も被爆者支援活動の一環として、日本のYMCA代表として、広島YMCAがノーベル平和賞授賞の公式記録を担当しています。

これからも広島YMCAは被団協とともに世界に向けて核兵器廃絶訴えていこうと思います。

何故このことばを！ 山崎 修

Fact が大切な時代に

事実が見えづらく、情報が錯綜する現代。だからこそ、私たち一人ひとりの「誠実な言葉」と「正しい情報」が、世界を照らす灯となります。真実に耳を傾け、虚構に惑わされず、正しい“Fact”に基づいて語ること。

それは、今の時代を生き抜く信仰者の姿勢でもあります。

何故この歌を 北川 佳治

下記3点により選定させていただきました。

- ① 細川さんのご出身の北海道虻田郡と私の親族に縁があること
- ② リリース年が私の生まれ年であること
- ③ メロディーが未だに耳に残っていること



十勝クラブ山菜例会訪問報告

柴田伸俊



参加者全員の集合写真

- ◆ 2025 年 5 月 17 日 (土) 13:00~20:00
- ◆ 池田邸
- ◆ 札幌クラブ参加者
安田文子会員、秋葉メネット、柴田メネット、
柴田部長

十勝クラブは年に 3 回、ファミリーが集まる例会を行っていると言いました。8 月の納涼例会、12 月のクリスマス例会、そして 5 月の山菜例会。今回はその山菜例会に札幌クラブから 4 名がお邪魔しました。

参加者はリーダー関係では YMCA 元リーダーが結婚相手と一緒に、また、子どもさん 2 人を連れた元リーダー家族も参加されています。十勝クラブはメネット、コメットなど 22 名、総勢 32 名が上旭 YMCA キャンプ場・恵みの里に集合しました。当番の越智ワイズは釧路からホタテ・カキ等を持参、中村ワイズは新鮮なアスパラ。山田ワイズは飲み物を用意。池田メネットが前日より調達・料理した山菜がテーブル一杯に並びました。芽室の有名店ラム肉もたっぷりです。夕方からの雨情報を気にしながら YMCA のテントを張ったり、焼き台などの火付け等参加者が各々準備します。大人も子供も交じっての白で突く餅が主食です。

5 時の開会式点鐘で例会は始まりました。開会点鐘後、ワイズソング、聖書朗読、会長挨拶、ビジター・ゲストの紹介、お祈り、そして待ちに待ったみんなでの会食です。美味しい笑顔と楽しい語らいが十勝の森に響き渡りました。にぎやかな集いはあっという間に時間が流れていきました。予報通り 8 時ごろから雨足が強くなり二白目の餅つきはテントの中で行われ、ヨモギ入り餡子餅は皆さんのお土産です。

ご馳走さまでした。そして池田ご夫妻長時間ありがとうございました。



当日の山菜の数々

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

① 子どものための短期集中サマープログラム受付開始

6 月 2 日 (月) より、幼少年短期集中サマープログラムの会員受付を開始しました。6 月 9 日 (月) より一般受付も開始しております。札幌 YMCA では、この夏休みに、ユースボランティアリーダー達の成長舞台でもあるサマーキャンプをはじめ、アクアティックやスポーツ・学びのプログラムなどに 1,300 名ほどの子ども達が集まります。

詳細は YMCA ホームページにてご覧ください。

(左の QR コードは、北海道 YMCA にリンクしています。)



札幌クラブ 2025 年 5 月事務会報告

本宮 大輔

日時：2025 年 5 月 27 日（火）19 時～ 20 時 45 分

場所：札幌 YMCA 総主事室＋オンライン

参加者：秋葉、小谷、北川、柴田、伏木、宮崎
（OL）小野、本宮、山崎

1. 6 月号ブリテンについて

原稿執筆担当者を協議、以下の通り決定。

巻頭言：中田（→宮崎）

聖句（今月の言葉）：山崎 今月の歌：北川

卓話：中奥さんへ受取済み 例会写真：小谷

山菜例会報告：柴田

原稿締切：6/5（木）

2. 6 月例会について

日時：2025 年 6 月 17 日（火）18 時 30 分～

場所：札幌 YMCA 101 教室

卓話：2024-2025 年度を振り返って、新年度の活動

卓話者：小野健 札幌クラブ会長

当番：小谷

3. 2025 年 7 月以降の例会卓話について（案）

- 2025 年 7 月 14 日（月）汝羊寮代表日下さんが経営している居酒屋「VALE」での懇親会例会を予定。VALE が休みなら、別の場所で移動例会を実施。
- 2025 年 8 月 19 日（火）汝羊寮寮生池田君の卓話（タイトル・内容は要確認）
- 2025 年 9 月 16 日（火）ユースボランティアリーダーズフォーラムの参加者？→ 活動と被っているの、要調整

4. 汝羊寮 & YMCA ユースとの交流活動

日時：6 月 21 日（土）夕方 16 時頃から

午前中に食材・飲み物などを寮に搬入、お昼過ぎから食材切、火おこしなどの準備を進めていく。

会費：ワイズメンバーは一人 5,000 円。（差入歓迎）

汝羊寮、ユースは無料（ただし、食材仕込みや火おこしなどの手伝いをしてもらう）

十勝・北見のワイズにも声がけ

⇒北見からは二本松さんがご夫妻で参加予定

5. 札幌ワイズ創立 70 周年行事について

日時：10 月 25 日（土）13:00 受付～20:00

場所：札幌プリンスホテル国際館パミール

（伏木さんにより予約済み）

北海道部会と併せて開催（8/23（土）に北海道部会を日程変更）

記念公演：三浦豪太氏（山崎さんにより確認済み）

予算はクラブ特別会計を組んで実施する。

参加人数 40～50 名規模で事業費 70 万円～80 万円

プログラム内容：

①北海道部評議会②部会③70 周年式典④祝賀会

⑤二次会で構成

式典内で永年会員表彰

IB 台中クラブに声掛けする。→伏木さんから連絡

案内用に 70 周年チラシを作成。

→東日本区大会に間に合わせる担当小野会長。

会費設定：評議会・部会 2,000 円 祝賀会 10,000 円
両方出る人は、12,000 円

→足りない分は、ニコニコ会計やクラブ繰越金から補填。25 万～30 万円程度

6. チミケップキャンプ場ワークについて

日程：6/14（土）～6/15（日）泊 2 日

⇒ワーク開始時間を確認後、札幌出発時間を決める

作業内容は未定。砂利引きになる可能性

札幌クラブからの参加者：柴田、小野

（汝羊寮生に声掛け中。）

7. 札幌 YMCA の予定イベントについての確認

○ウォーターセーフティーデイ

6 月 29 日（日）YMCA プール

協賛金 5,000 円予算化済み

コーヒーサービス等サポート活動なし

8. 東日本区大会宇都宮大会について（6/6～6/8）

6/6（金）前夜祭 6/7（土）大会

（テーマ：ユース・エンパワーメントの実現

Y's x SDGs Youth Action）

札幌クラブからの参加者（柴田、小野）

9. その他（略）

以上